

ヒトと動物の関係学会 第21回総会資料

総会議題

- 1号議案 2014年次事業報告
- 2号議案 2014年次決算報告
- 3号議案 監査報告
- 4号議案 年会費の改定等について
- 5号議案 2015年次事業計画（案）
- 6号議案 2015年次予算（案）
- その他

日時：2015年3月8日（日）午後0時15分より

場所：東京大学農学部1号館8番教室

コーディネーター：若生 謙二

シンポジスト：喜多村 晴幸「農と動物を通じて学ぶ取り組み」

原 敬一 「魅力ある動物関連学科づくり」

三輪 嘉文 「動物とのかかわり方の変化が、学校・学科を変えた！」

コメンテーター：細井戸 大成、福岡 今日一

第 102 回月例会 2014 年 7 月 17 日 (木)

「動物たちがひらく 子供のころ～グリーン・チムニーズ特別講演会&動物介在
教育実践発表」

場所：宮崎市保健所

講演者：木下美也子

(グリーン・チムニーズ&ファーム サム&マイラ・ロス研究所 教育プログラム部長)

第 103 回月例会 2014 年 10 月 4 日 (土)

「護るために殺す？ アフリカに於けるスポーツハンティングの「持続可能性」と地
域社会」

場所：東京農業大学世田谷キャンパス 1 号館 1F 111 教室

講演者：安田章人 (九州大学基幹教育院)

第 104 回月例会 2014 年 11 月 16 日 (日)

「地域包括医療とアニマルセラピー：特に認知症に対して」

場所：帝京科学大学 本館 403 教室

講演者：生長豊健 (老人保健施設・高松アクティブホーム)、

上條武雄 (上條内科クリニック)

第 105 回月例会 動物観研究会公開ゼミナール 2014 年 12 月 7 日 (日)

場所：東京農工大学農学部・第一講義棟 2 階 24 号教室

野崎友香 (帝京科学大学) 「「いのち」を感じさせる動物介在教育の試み」

平良和士 (帝京科学大学) 「沖縄の闘牛に関する動物観研究」

五月女陽子 (帝京科学大学) 「こどもの死生観と義務教育」

大林駿斗 (帝京科学大学) 「日本人の動物園に対する態度の類型化に関する考察」

矢野明日香 (帝京科学大学) 「新聞記事に見る動物園観の移り変わり」

田村成美 (明治大学) 「Twitter で考える現代日本人の動物観」

小島 望 (川口短大) 「獣医師会の野生動物に対する福祉の方向転換について考
える」

中村多恵 「飼い主を通して「動物の愛護と福祉」を考察」

特別企画 「愛護と福祉はどう違う」

石田おさむ（千葉市動物公園）「愛護と福祉の歴史」

山口千津子（(公社) 日本動物福祉協会）「動物福祉とは」

会田保彦（ヤマザキ学園大学）「動物愛護とは」

山田佐代子（神奈川県動物愛護協会）「動物福祉と動物愛護」

4) 会議の開催

常任理事会 3/8、5/17、8/21

理事会 3/9

評議員会 3/9

編集委員会 5/17

学術委員会 4/26、10/4

5) 学会誌の発行

第37号発刊 3月 900部

第38号発刊 7月 900部

動物観研究19号 12月 900部

<2号議案>

2014年次 決算報告

2014年12月31日現在

1. 会計報告

I. 収入の部

(単位:円)

科目	2014年度決算	2014年度予算	予算比	備考
一般・学生会費	1,575,000	3,329,000	47%	
賛助・法人会費	240,000	270,000	89%	
大会参加費	600,000	673,000	89%	学術大会 大会費、懇親会費
出版物売上	227,000	267,000	85%	学会誌他
広告費・別刷費	32,580	129,500	25%	
雑収入	50,500	50,000	101%	シンポジウム、月例会等
預貯金利子	197	300	66%	
雑収入計	50,697	50,300	101%	
当期収入合計	2,725,277	4,718,800	58%	
前期繰越額	2,783,365	2,783,365	100%	
収入の部合計	5,508,642	7,502,165	73%	(当期収入合計+前期繰越額)

II. 支出の部

(単位:円)

科目	2014年度決算	2014年度予算	予算比	備考
学会誌印刷費	1,248,742	1,340,000	93%	学会誌通巻37号～38号・動物観
学会誌制作費・編集費	1,174,080	1,010,000	116%	学会誌通巻37号～38号制作費・編集費
小計	2,422,822	2,350,000	103%	
大会費	813,074	925,000	88%	講演料、会場費、懇親会費、アルバイト代
シンポジウム・月例会費	238,630	303,000	79%	講演料・交通費、その他
通信費	161,290	213,000	76%	HP管理費、電話
小計	1,212,994	1,441,000	84%	
郵送費	216,681	292,000	74%	
人件費	600,000	618,000	97%	事務人件費
旅費交通費	421,262	356,000	118%	
事務費	33,226	128,000	26%	会議費、事務用品、コピー代含む
小計	1,271,169	1,394,000	91%	
雑費	22,975	24,500	94%	振込手数料、弔電・弔花等を含む
当期支出合計	4,929,960	5,209,500	95%	
翌年度繰越	578,682	2,292,665	25%	
支出の部合計	5,508,642	7,502,165	73%	

2. 会費納入状況

個人会員会費納付状況(2014年12月31日現在)

年 度	各年度末総会	納付件数	納付率	昨年末	今年度増加
2010年度分会費	868	711	81.9%	689	22
2011年度分会費	818	629	76.9%	553	76
2012年度分会費	801	744	92.9%	521	223
2013年度分会費	768	598	77.9%	556	42
2014年度分会費	683	317	46.4%		

※2009年度より5年滞納者を退会者扱いにしている

2011年納付	700	3,351,000円
2012年納付	628	2,987,500円
2013年納付	754	3,650,000円
2014年納付	328	1,575,000円

賛助・法人会員会費納付状況(2014年12月31日現在)

年 度	各年度会員数	納付済件数	納付率
2011年度分			
賛助会員	12	4	33.3%
法人会員	2	0	0.0%
2012年度分			
賛助会員	9	7	77.8%
法人会員	1	1	100.0%
2013年度分			
賛助会員	7	5	71.4%
法人会員	1	1	100.0%
2014年度分			
賛助会員	7	3	42.9%
法人会員	2	2	100.0%

<3号議案>

監査報告

2014年1月1日から12月31日までの2014年次における会計および業務の監査を行い、内容について適正であると認めためたのでこれを報告する。

2015年2月27日

監事 天野 卓

加藤 由子



<4号議案> 年会費の改定等について

年会費の改定について

(ヒトと動物の関係学会会則施行規定)

第3条

1 この学会の会費は、次の通りとする。

1) 正会員会費 年額 5,000円

学生 年額 2,500円

☆ 恒常的な学会運営のための一手段として年会費の改定を以下のように提案したい。

- 正会員会費を6000円に改定。
- 学生会員会費を3000円に改定。但し、学術大会での発表を目的とする学生(指導教員・教官が正会員であること)の一時入会の会費を別途2000円とする。

・退会措置の改定について(報告)

恒常的な学会運営のための一手段として退会措置の扱いを以下のようにする(会則変更はなし)。

ヒトと動物の関係学会会則

第7条 会員が以下の各号の1に該当するとき、会長は、理事会の議決により除名することができる。

1) 会費を2年以上滞納し、催促に応じないとき

☆ これまでは、5年間の未納に対して退会(除名)措置を行ってきたが、3年以上の会費未納者を退会扱いとする。

<5号議案> 2015年次計画(案)

1) 学術大会の開催

第21回学術大会

2015年3月7(土)・8日(日)

シンポジウム「家族って何? 動物との比較から家族を考える 動物集団から人間家族へ」

座長: 若生謙二(大阪芸術大学)

演者: 森 謙二(茨城キリスト教大学) 「家族起源論と人間家族の研究」

伊谷 原一(京都大学野生動物研究センター) 「類人猿社会から見た人間家族」

コメンテーター: 石田 おさむ(千葉市動物公園)、山越 言(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)

森裕司先生追悼記念講演・対談

林良博(国立科学博物館館長)・細井戸 大成(JAHA 会長)

口頭発表 23 題 ポスター発表 3 題

2) 研究会の開催

シンポジウム 2 回 (2015 年 1 月大阪終了 下記)

月例会 数回 (106 回 1 月終了 下記)

学生審査会 1 回 (2015 年 1 月 終了)

第 106 回月例会／関西シンポジウム

「野生動物から家畜への道」

場所：大阪芸術大学あべのハルカス スカイキャンパス

コーディネーター：池谷和信 (国立民族学博物館・総研大)

演者：大石侑香 (首都大学東京) 「シベリアのトナカイ牧畜から考える：極北」

高槻成紀 (麻布大学) 「シカはどうして家畜にならなかったか？：温帯」

池谷和信 (国立民族学博物館) 「家畜になったイノシシ、ならなかったペッカリー：
熱帯」

コメンテーター：若生謙二 (大阪芸術大学)、瀬戸口明久 (京都大学人文科学研究所)

3) 会議の開催

常任理事会 3 回程度 (3/7 開催済)

理事会 3/8

評議員会 3/8

編集委員会 2 回程度

学術委員会 2 回程度

4) 学会誌の発行

第 39 号発刊 1 月 900 (発行済み)

第 40 号発刊 3 月 900 部 (発行済み)

第 41～42 号 発行予定

動物観研究 20 号 12 月 発行予定

<6号議案>

2015年度 予算(案)

(単位:円)

I、収入の部

科目	2015年度予算	2014年度決算	決算比	備考
一般・学生会費	3225000	1,575,000	204.8%	一般会員607、学生会員76
賛助・法人会費	340,000	240,000	141.7%	賛助会員6、法人会員2
大会参加費	695,000	600,000	115.8%	過去3年平均
出版物売上	229,000	227,000	100.9%	過去3年平均
広告費・別刷費	86,500	32,580	265.5%	過去3年平均
雑収入	50,000	50,500	99.0%	動物観研究会より
預貯金利子	200	197	101.5%	
当期収入合計	4,625,700	2,725,277	169.7%	
前期繰越額	578,682	2,783,365	20.8%	
収入の部合計	5,204,382	5,508,642	94.5%	

II、支出の部

科目	2015年度予算	2014年度決算	決算比	備考
学会誌印刷費	1,250,000	1,248,742	100.1%	学会誌39・40・41号及び動物観研究/各900部
学会誌制作費	1,180,000	1,174,080	100.5%	学会誌39・40・41号
小計	2,430,000	2,422,822	100.3%	
大会費	890,000	813,074	109.5%	過去3年実績平均
シンポジウム・月例会費	350,000	238,630	146.7%	講演料・会議費・IAHIO会費昨年未納分を含む
通信費	162,000	161,290	100.4%	
小計	1,402,000	1,212,994	115.6%	
郵送費	220,000	216,681	101.5%	
人件費	600,000	600,000	100.0%	
旅費交通費	422,000	421,262	100.2%	
事務費	100,000	33,226	301.0%	角2封筒5000枚発注予定
小計	1,342,000	1,271,169	105.6%	
雑費	23,000	22,975	100.1%	
当期支出合計	5,197,000	4,929,960	105.4%	
次期繰越額	7,382	578,682	1.3%	
支出の部合計	5,204,382	5,508,642	94.5%	

<7号議案> その他

・評議員の辞任等について

栗田博之氏(辞退)、森裕司氏(逝去)、山根義久氏(退会)